

# 宮城県感染症発生動向調査情報

令和元年5月30日発行

2019.5.20～2019.5.26 ー第21週ー

## 1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾病	保健所							宮城県(含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第18週	第19週	第20週	第21週
水痘	1 0.25	11 1.10	7 1.40			6 1.20	8 4.00	11 0.41	44 0.76	675	レ	○	○	○
流行性耳下腺炎		1 0.10	1 0.20			1 0.20		8 0.30	11 0.19	79				
感染性胃腸炎	21 5.25	81 8.10	8 1.60	12 6.00	9 3.00	32 6.40	4 2.00	299 11.07	466 8.03	7,020	◎	◎	◎	◎
手足口病	1 0.25						1 0.50	4 0.15	6 0.10	109				
伝染性紅斑	3 0.75	10 1.00	7 1.40		1 0.33	22 4.40	4 2.00	15 0.56	62 1.07	2,279	レ	○	○	◎
突発性発しん	1 0.25	4 0.40	5 1.00		3 1.00	7 1.40	2 1.00	13 0.48	35 0.60	534	レ	○	○	○
ヘルパンギーナ									0 0.00	11				
インフルエンザ	20 2.86	9 0.60	11 1.38			6 0.75	4 1.00	35 0.80	85 0.90	30,316	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱		3 0.30		4 2.00	5 1.67			5 0.19	17 0.29	277				
流行性角結膜炎		7 2.33							7 0.58	52				
急性出血性結膜炎									0 0.00	4				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44 11.00	33 3.30	10 2.00		2 0.67	39 7.80	1 0.50	79 2.93	208 3.59	4,106	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	1				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎				1 1.00					1 0.08	80				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	9 2.25	5 0.50		1 0.50		2 0.40		34 1.26	51 0.88	582	レ		○	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								2 0.40	2 0.17	25				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		4	1			1							
	川崎病						1							
	不明発しん症							5						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

仙南管内 女性1名  
仙台管内 男性1名  
結核(無症状病原体保有者)  
仙台管内 男性1名(第17週)、女性4名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

仙南管内 男性1名(Enterobacter aerogenes)  
梅毒  
仙台管内 女性1名  
百日咳  
仙台管内 男性1名(第20週)  
風しん  
仙台管内 男性1名(第16週)  
麻しん  
仙台管内 男性1名、女児2名\*

※女児は6歳未満

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

### 【定点把握対象疾患】

[水痘]

気仙沼管内で警報レベルを超えました。  
塩釜, 大崎, 石巻管内で注意報レベルを超えました。

[伝染性紅斑]

石巻, 気仙沼管内で警報レベルを継続中です。

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

仙南, 石巻管内で警報レベルを継続中です。

### 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より  
塩釜管内 第20週採取分 インフルエンザB型 1件  
感染性胃腸炎患者より  
塩釜管内 第21週採取分 ノロウイルスGⅡ群 3件  
塩釜管内 第21週採取分 ノロウイルスGⅡ群 2件  
塩釜管内 第21週採取分 ノロウイルスGⅡ群 3件  
E型肝炎患者より  
仙南管内 第16週採取分 E型肝炎ウイルスG3 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定		中間報告	
	第18週採取分	第19週採取分	第19週採取分	第20週採取分
	(4.29～5.5)	(5.6～5.12)	(5.13～5.19)	
RSウイルス	0件	1件	2件	
ヒトメタニューモウイルス	0件	1件	0件	

## 4. 今週のコメント

【麻しん】

今週、仙台管内の医療機関より麻しん患者3名の届け出があり、県内の麻しん患者は4名となりました。麻しんウイルスに感染すると、10～12日間の潜伏期間を経て発症し、38℃前後の発熱、咳、鼻水などの症状が数日続いた後、口の中に特徴的な斑点(コプリック斑)が現れます。発熱は39℃以上の高熱となり、その後発疹が現れます。麻しんは空気感染で感染力が非常に強いため、体育館やコンサート会場などの広い場所でも感染の恐れがあるため注意が必要です。麻しんはワクチン接種により予防することができます。罹患歴や接種歴が不明な方はワクチン接種を検討するなど、感染予防を心がけてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)  
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362  
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

